

知事と市町村長との意見交換（東大和市）

令和元年 10 月 18 日（金）

17 時 35 分～17 時 55 分

○**行政部長** それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** 御多用の中、尾崎市長には都庁までお越しいただきまして、誠にありがとうございます。このところ台風続きでございますけれども、何かと防災というのはまず一番基本的な部分だと思います。改めて災害対策などは連携して進めさせていただこうと考えております。都政運営への御協力も改めて御礼申し上げます。ここで、長期戦略を都として今描きつつありますので、東大和市の今後のビジョンやお考えなどについて伺えればと思っております。短い時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○**行政部長** 尾崎市長、お願いいたします。

○**東大和市長** 東大和の尾崎でございます。本日はこのような機会をいただきまして、誠にありがとうございます。また、知事におかれましては、日頃から東大和市の市政全般にわたりまして御理解、御協力をいただいておりますこと、誠にありがとうございます。また、先般の台風 19 号につきましては、当市の方に、東京都の職員、そして、消防庁の職員を派遣いただきまして、災害対策ということで迅速な支援等を賜り、厚く御礼を申し上げます。このような形で支援していただくと、本当に心強いということでもありますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、私ども東大和の長期戦略に関して当市が東京都に望むということでお話をさせていただきたいと思っております。まず一つ目が、日本一子育てしやすいまちづくりについてでございます。画面資料の 2 ページということで、今プロジェクターに出てございますけれども、当市の人口は現在約 8 万 5 千人であります。近年、人口減少の動きが出始めており、将来にわたって市が持続していくために、平成 27 年から、日本一子育てしやすいまちづくりを目標に掲げて、子ども・子育て支援施策や教育施策を重点的に取り組んできております。この取組の成果としましては、子育てに関する民間の調査ということでございまして、それでも、全国調査でランキングも上位の方に位置してきてございます。また、合計特殊出生率につきましては、平成 29 年、都内区部市で第 1 位となりました。

その一方で、保育士の不足や保育の無償化等の影響によりまして、さらなる待機児童対策や子供の学力向上などが大きな課題となっております。

次の画面をお願いします。これは、当市の財政の特徴として、人口一人当たりの扶助費や経常収支比率の割合の高さを示したものでございます。青い棒グラフが当市でございますが、いずれも 23 区、多摩 26 市平均を上回っており、財政の硬直化が進んでいるというふうに考えてございます。

次に、課題についてであります。課題の 1 としまして、待機児童数の増があります。

当市では、これまで、青い棒グラフにありますように、保育施設の定員増を図ってまいりました。オレンジ色の折れ線グラフにありますように、平成 29 年度には待機児童が 3 人となりましたが、保育士の不足や保育無償化等の影響により、市の対応を超える需要が発生し、待機児童数が増加してきております。

次に、課題 2 としまして、子育て環境の比較であります。義務教育就学児童の医療費の助成制度につきましては、当市は所得制限や通院一部負担金がありますが、23 区にはありません。また、保育施設への給付費の算定基準となる地域区分の割合につきましても、当市は 100 分の 12、23 区は 100 分の 20 となっており、保育士の確保に影響があるなど、このように子育て環境に差が生じているところであります。

次に課題の 3 としまして、教育環境の比較であります。児童生徒一人当たりの教育費につきましては、青い棒グラフが当市であります。多摩地域の他市や 23 区との間で差が生じております。また、教育の ICT 環境におきましても、統合型校務支援システムの整備状況に差が生じております。

以上、当市の現状と課題等について御説明をいたしました。東京都におきましては、広域的な自治体として、同じ都内で子育てや教育に関するサービスに差が生じることがないように、東京都全体の課題として捉えていただきたいと思いますと考えております。具体的に望むことといたしましては、一つ目として、保育施設や学童クラブなどの待機児童対策や、保育士不足の解消への支援。二つ目としまして、子供の医療費制度の所得制限撤廃と完全の無料化。三つ目としまして、子供たちの学力向上への支援。四つ目として、小中学校の教務環境改善への支援であります。これらの取組を推進していただきたいと思いますと考えております。

次に、二つ目の緑と水のネットワークの創出についてであります。当市は、都心近郊でありながら、自然が豊かであり、四季折々の自然を肌で感じることもできるまちであります。住みやすいまちづくりを目指しております。

当市の緑と水の拠点を幾つか紹介をさせていただきます。まず、当市のシンボルであります、多摩湖であります。今から 90 年ほど前、この多摩湖は、東大和市の先人たちが住み慣れた故郷に建設されたところで、今では、都民の水がめという役割にとどまらず、首都圏の貴重な水辺環境として、隣接する狭山丘陵とともに、その四季折々の景観は心を魅了し、観光の拠点として、多くの人々の憩いの場となっております。

続きまして、野火止用水、そして、東京都による浸水対策のために河川整備が進められている空堀川は、身近に自然を感じながら散歩できる貴重な水辺となっております。当市では、緑地保全や緑化推進を目的とした緑の基本計画を策定しておりますが、この中で先ほど紹介しました、緑や水の拠点を一体的に結びつけた「緑と水のネットワーク創出」に取り組むこととしております。これらの取組は、東京都の計画や政策と合致し、東京都の施策に関係することから、東京都全体の課題として捉えていただきたいと思いますと考えております。具体的に望むこととしましては、1 点目として、東京都による多摩湖や狭山丘陵、空堀川の植樹等の一体整備の推進。二つ目としまして、東大和芋窪緑地の事業認可や市が先行取得した土地の早期買収。三つ目として、村山上貯水池の堤体工事に伴う周辺設備の整備。桜

の更新や管理、旧水道局職員研修所跡地への公園の整備であります。これに関する取組を推進いただきたいと思います。

以上で、早かったのですが、当市からの東京都に望むことでありますので、よろしくお願いたします。

○知事 ありがとうございます。日本一子育てしやすいまちづくりをモットーに取り組んでおられることに敬意を表します。一方で、待機児童の解消でございますが、都政の最重要課題の一つでございますので、この私自身、これにはしっかりと取り組んでいくという方針で、それぞれの市の皆さま方、現場を抱えておられる皆さまの声も参考にしながら進めてきたところでございます。逆に、残念ながら待機児童が増えてしまっているということでございますが、結局、人材の確保、そして定着の支援が必要だというお話だったかと思えます。それから、学童クラブでございますけど、国の学童クラブの運営補助事業で、放課後の児童支援員の人件費に対する補助を行っているわけでございますが、常勤職員の配置など、都が定めた要件を満たす学童クラブに対する補助を、都独自に行っております。人集めというのは一番厳しいところかと思えますけれども、また、人を確保することでまた人を呼ぶという良い循環になればと思っております。乳幼児や義務教育就学児、ひとり親家庭など、医療費助成事業、先ほどありなしと色々ありましたけれども、子育て家庭を支援するという観点から、福祉施策の一環として補助も行っております。それから、これは国に対してむしろ市長会等でも声を上げていただければと思うんですが、子供の医療に関わる全国一律の制度を創設するように声を上げていただき、それを今度は、私自身が全国知事会に要望するということで、全国知事会が国に対して要望するというムーブメントが必要かと思えます。引き続きこれらの事を進め、保育サービスの拡充、それから、学童クラブ事業など、取り組む皆さま方を支援していきたいと考えております。今回、消費税が10月から税率がアップすることによって、その教育などの無償化が進むわけですが、これがまたどういう効果と、影響を及ぼしていくのかなどもよくウォッチしながら進めていきたいと考えております。

それから、水と緑のネットワークで、前回もこちら御紹介いただいた、素晴らしい湖畔とぐるりと囲まれた緑と水を生かされまして、自然を守っておられることに敬意を表したいと思います。この豊かな自然は、観光資源としても貴重でありますし、蛍の光といった歌になっちゃうんですけど、蛍を見に行く自然愛好家へのアピールなど連携させていただければと思います。都において、空堀川の護岸の整備に合わせて、親水性の高い緩やかな傾斜の護岸だったり、管理用の通路の緑化などを行って、潤いのある水辺の空間の創出に取り組んでいるところでございます。

また空堀川沿川のさらなる緑化を検討していくということで、おっしゃいますように、水と緑のネットワークを充実させていくことについては、市の皆様方と連携していきたいと思っております。都市計画公園と緑地の整備方針に基づいて、緑の骨格となります都立公園の整備も進めておりますので、まさしく現場の皆様方との連携が一番重要なところかと思えます。東大和芋窪緑地の事業化は、一体的に整備する中藤公園で事業を進めている

ところでございますので、引き続き検討してまいりたいと考えております。

それから、先ほどの素晴らしい多摩湖は、おいしい水を安定して供給する上で、極めて重要な水道施設でございます。その機能を維持するためにも、適切な管理が必要となってくるわけでございますけれども、お話にありました旧水道局職員の研修所跡地の地下部でも、浄水場へ導水、水を導くための重要な管路を埋設しているということからも、適切な管理が必要ということでございます。施設管理上での制約も考えられますが、具体的な御要望について、建設局、水道局の方と打ち合わせしていただければと、このように考えております。ぜひ、東京の緑をこれ以上なくさないというのも、大きな長期戦略ではないかと思っておりますので、これからも緑を守っていただけるようなサポートができるようにしていきたいと思っております。

○行政部長 尾崎市長いかがでしょうか。

○東大和市長 ありがとうございます。この緑ということでは、以前から北北建の方々と一緒になりまして、ぜひ狭山丘陵、それから多摩湖、そして空堀川、これ親水公園っていうことになってきているんですけど、今整備中でございますので、そのところを桜の大回廊にしたいと。20年後、30年後は、空堀桜か小金井桜かと、小金井桜はあと2、30年というところとちょっとアレかもしれないですけど、空堀桜だということ、東京から簡単に来られて、それでぐるっと見てまた帰るということで、素晴らしい環境ができるのではないかなど、そのように思っていますし、東京都の実行プランである水と緑のネットワークの充実、あれは写真は沿岸部というか、そういうところだったんですけど、あれを読んだ時に、これは東大和のためにある計画だなと思ったぐらい、北北建の所長さんにも、それをコピーを取りまして、これは東大和のためにということで、空堀川全線を歩きまして、こういうふうにしてほしいということで要望してありますので、ぜひ一言、北北建の所長さんに、東大和の話聞いてやってよというふうなことを言っていただくとよろしいかなど。お金はあまりかからずにいけそうなので、その辺のところは。それよりは、私ども日本一子育てしやすいまちづくりということで、一生懸命お金というか財政的には結構厳しいところなんですけれども、ただ、我々から見ると、本当に対象者は少ないんですけど、相手から、受ける人から見ると100%いいなっていうふうなものということで、病後とか病後児、それからあとはお迎えということで、何かあったときには市の方が代わりに保育士さんとかそういう人が保育園へお迎えに行き、そして病院で診て、それで預かりますよって、そういうサービスを始めたりとか、いろんなことを重度障害者の方に対しても同じようにやろうとやっているんですけども、対象の方になるのは少ないんですけど、ただ相手側からすると非常にいいサービスだということで評判がよくて、おかげさまでその日経DUALの全国の共働き世帯住みやすいまちということで、第3位まで行ったんですけども、いかんせんなかなか財政的なものが出てくると非常に厳しいものがあるということもあわせて、特に人材ということで、待機児童が3人まで減ったんですけど、その後増えてしまったっていうのは、本来なら開設予定のところが開設がなくなってっていうことだった、ただ、保育士さんを確保できなくて結局は駄目だということで、人材が確保できずに待機児童が増え

てしまったという非常に厳しい状況もございます。そういった意味では、いつも思うんですけども、23区の経常収支比率って70%台なんですよ。本当にいつもびっくりしているんですよ。多摩も私どももそうなんですけど、93とか4ですからね。中には100超えてるところもありますよね。なんでこんなに差がついちゃうんだろうというふうに思うんですね。それで、やっていることは、区は結構こういうのやっている。我々は、やりたいんだけどこっちの方があって難しいと。その辺は出来たら同じ東京だから、経常収支比率せいぜい80%ぐらい近くになる、70とは言いませんから、せいぜい85とか、6、7ぐらいでおさまるように何とか、同じ東京という意味で考えていただければなというふうに、私どもの方も、めいっぱい防災とか含めて、知事と一緒に東京をよくしていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。思い切り言わせていただきまして、ありがとうございます。

○行政部長 では、そろそろお時間になります。最後に知事から一言お願いいたします。

○知事 熱いお訴えをいただきました。やはり大きな観点から、子育てしやすいということは、そのまちが持続可能であるということの一番のベースにもなります。保育士の資格を持った市民もおられると思いますので、ぜひそういう方々とうまく連携をしていただいて、自分の子育てをしながら保育士をやるということは、これまでいろいろ要件が高かったんですけど、それは可能になっておりますので、そのような工夫などをお進めいただいて、都が設けておりますプラスアルファの部分の補助も有効に活用いただいて、保育士が足りないから全体が使えないというのはとてももったいないので、いろんな工夫をともにしていきたいと思っています。

今日は本当にありがとうございました。

○行政部長 それでは意見交換を終わらせていただきます。ありがとうございました。